

校長室より⑨

3学期始業式(1月6日)



短い3学期、47日がスタートしました。始業式には代表生徒の新学期の抱負の発表もありました。自主学習の時間をもう30分増やすという具体的な内容も宣言していました。

学校長からは「ウェルビーイング」について話をしました。どんな大人になりたいのか、自立と尊重を備えた素敵な大人になるために、どんな考え方で生活していけばよいのかについて、工藤勇一著「きみを強くする50の言葉」の中からいくつか紹介しました。

受験や進学、進級、また新年度の準備期間となる47日間を充実させ、4月から新しいスタートが切れるようにしたいですね。

情報モラル学習(1月18日)



ネット上での誹謗中傷や生徒指導上の問題、犯罪や迷惑行為など私たちの周りにはあふれています。また、知らず知らずのうちに相手の心を傷つけてしまったり、法律に触れる行為をしてしまったりしてしまうこともあります。

そうならないためにどうすればよいか。今回の情報モラル学習では、LINEの教育研修担当の方にオンラインで指導をしていただき、グループワークを含めた学習を行いました。

顔の見えないSNSの文章だけでは相手の気持ちが分かりにくいことがあったり、自分の気持ちや状況がうまく伝わらなかったりするということを学びました。

よい人間関係を築くためにSNSを上手に使っていくことや、想像力を働かせて相手の気持ちや状況を理解して行動することなどコミュニケーションスキルを身につけていくことが必要ですね。

どんぐり向方中と百人一首交流(1月19日)



コロナ禍で中止されていた「どんぐり向方中との百人一首交流」を3年ぶりに開催しました。2校の生徒が入り交じって5、6人ずつ3つのグループに分かれ、「散らし取り」で行いました。最初は静かな会場でしたが、次第に盛り上がり歓声も聞かれるようになりました。中には、上の句を少し読んだだけで「はい!」と取ってしまう生徒もいました。

「ふるさとタイム」(個人探究)発表会・永嶺村長との懇談(1月25日)



1年間かけて自分なりの探究課題を持って学んできた成果を参観日で発表しました。参観者は、保護者の皆さんをはじめ、村長さんや生徒の取材に関わった方もお見えになりました。天龍村の歴史や風俗、自然や環境などについて校外へ出て取材したり、見学したりして課題を追究した内容やそこから学んだことをプレゼンしました。

その後の村長さんとの懇談では、「ふるさとタイム」に関わって村の環境や観光等について、質問したり、生徒の願いを伝えたりして、村長さんからは丁寧な見解をいただきました。